

「私のカルテ」センター便り

第4号 2021年9月

仲秋の候、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より「私のカルテ」等の運用につきましてご協力賜り、厚く御礼申し上げます。昨年より続く新型コロナウイルスが猛威を振るっております。医療関係者の皆様のご苦勞を拝察いたします。

さて、当センターでは、今年度より新たに、当院脳神経外科の武笠晃丈教授がセンター長に就任し、新体制で活動を行っております。スタッフ一丸となって、より一層患者さんのために、医療者のためになるがん診療連携となるよう、活動に力を入れて行こうと決意した次第です。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



武笠晃丈センター長より

本年4月より、前任の片瀨秀隆先生より引き継ぐ形で、「私のカルテ」センター長を拝命いたしました、熊本大学病院脳神経外科の武笠晃丈と申します。私の専門は脳腫瘍で、特に悪性脳腫瘍の患者さんの診療にあたることが多く、また、転移性脳腫瘍の診療を通して、これまで多くの他の領域のがん患者さんの治療にも関わって参りました。また医療を受ける立場としましては、母の膵臓がんの闘病を支える経験を通して、病診連携のありがたさを身をもって体験しております。2010年3月に導入されてから多くの方々に育てられつつ10年が経過し、すでに8,000名近い患者さんにご使用いただき、その支えとなって参りました「私のカルテ」ではありますが、さらに多くの方々のお役に立てるように、その運営にたずさわらせて頂きたいと思っております。





「私のカルテ」

がんの患者さんが持つファイルです

- がん専門医、かかりつけ医、看護師、薬剤師などと一緒に使います。
- お薬手帳入れがついています。
- がん診療連携拠点病院で発行しています。



「私のノート」

主に在宅療養中の患者さんが持つものです

- 患者さんやご家族、医師、看護師、往診医、訪問看護師、ホームヘルパー、ケアマネージャー等がみんなで書き込む、交換日記のようなものです。



私のメッセージ

ACP (アドバンス・ケア・プランニング) フォーム

- どなたでも使えます。
- もしもの時にどうしたいか、ということを考え、記録するための冊子です。
- ※ACPとは、将来に備えて、医療やケアについて、患者さんや家族、近しい人、医師、看護師等が繰り返し話し合いを行い、患者さんの意思決定を助けるプロセスのことです。

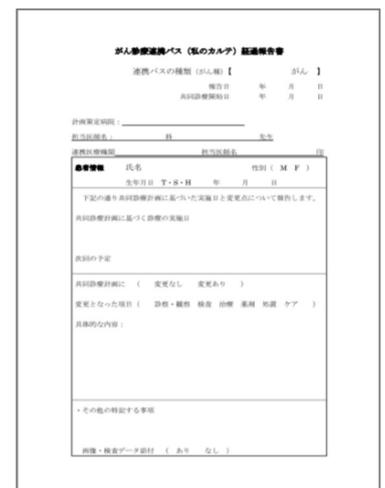
がん治療連携パス経過報告書で“がん治療連携指導料”300点算定できます！

「私のカルテ」(がん治療連携指導料) 算定手順

- 一、共同診療計画表に沿って診察
- 二、「私のカルテ」内、情報共有書の左上で算定可能な患者さんか確認
- 三、経過報告書を書いて拠点病院へ郵送
- 四、“がん治療連携指導料”300点を算定

経過報告書の入手方法

- 「私のカルテ」センターホームページからダウンロードできます。
- 改訂版「私のカルテ」は最後のページに綴じてあります。





「私の日記」

患者さんが使う日記です

- 患者さんの体調や病気のこと、思っていること等を自由に記載して使う日記です。
- 英語翻訳がホームページからダウンロードできます。



がん情報冊子

がん患者さんやご家族の療養上のこと、生活の支援に関する熊本県の情報を紹介しています。がんを正しく理解し、将来の展望をもって生活し、治療に臨んでもらう手助けとなるものです。

【問い合わせ先】

熊本県がん相談員サポートセンター
TEL : 096-373-5558

「私のカルテ」の最近・・・

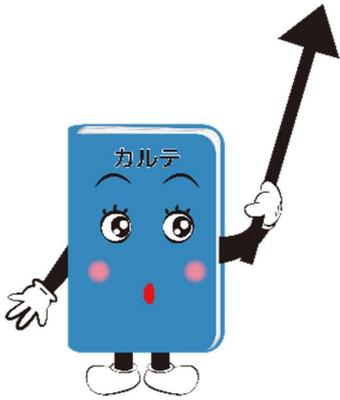
「私のカルテ」は令和3年度より改訂版を使用しております。歯科医院からの記載ページやかかりつけ薬局についてのページなどが追加され、より充実した内容へ変更いたしました。「私のカルテ」の改訂に併せて、「私のカルテ」ガイドブックも新しく作成いたしました。「私のカルテ」のページ毎の説明や使用方法、医療機関スタッフ用Q&Aなども掲載しております。ガイドブックをご希望の際は、ホームページからダウンロードしていただくか、当センターより郵送いたします。



熊本県内のがん診療連携拠点病院（20施設）

熊本大学病院	熊本赤十字病院	熊本医療センター	済生会熊本病院
荒尾市民病院	熊本労災病院	人吉医療センター	熊本中央病院
熊本再春医療センター	熊本総合病院	水俣市立総合医療センター	天草地域医療センター
天草中央総合病院	熊本地域医療センター	くまもと森都総合病院	大腸肛門病センター高野病院
山鹿市民医療センター	熊本南病院	阿蘇医療センター	熊本市市民病院

「私のカルテ」アンケート調査を実施いたします！



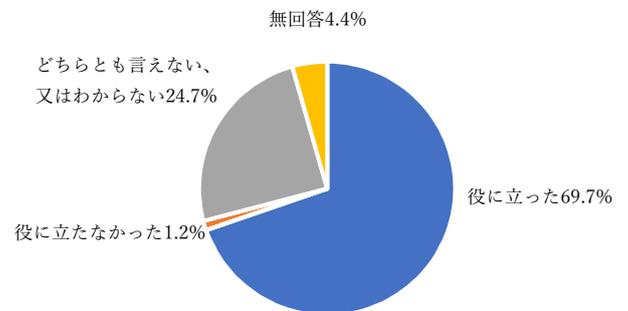
「私のカルテ」は、2009年に各がん種のパスが策定され、2010年3月より運用を開始しております。医療関係者をはじめ多くの方々のご協力の元、活動を継続し、2020年3月で10周年を迎えました。現在、運用開始後12年目です。

2012年と2016年時にもアンケート調査を実施しており、今回で3回目となります。この機に「私のカルテ」を評価し、更に効果的な運用ができるよう、役立てて行きたいと思っております。がん診療連携拠点病院、かかりつけ医療機関、保健調剤薬局、患者・家族を対象とする予定です。今後のがんの地域連携の発展のためにも、是非ご協力をお願い致します。

2016年9月（「私のカルテ」開始後5年時）アンケート結果一部抜粋

気づいた点、意見等（患者より）

- ・医師やスタッフで共有して頂いている安心感がある。
- ・自分の体のことが考えられる。先生に質問などができるようになった。どちらの先生（専門医・かかりつけ医）も身近に感じられるようになった。
- ・少しずつ先が見えてきて自分自身の心身のことの記録になり、振り返ることができる。
- ・私は病気のことがわからないので助かっています。
- ・診療計画を見ながら進めていくことができます。



メリットの有無（患者）アンケート結果



熊本県がん診療連携協議会相談支援・情報連携部会

熊本県「私のカルテ」がん診療センター

〒860-8556

熊本県熊本市中央区本荘1丁目1-1

熊本大学病院内

TEL：096-373-5763/5764

e-mail:mykarte-center@jimu.kumamoto-u.ac.jp

<http://www2.kuh.kumamoto-u.ac.jp/Cancon-sultation/mykarte/index.html>

